国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

208
3
726

春の文

しくれ

四篇

京山作
豊國画

文永二 成春新板

栄久堂

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

春の文かしく四編

京山作

明治
45 7. 12
購求

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

今女中の文通ふめでさうとハせべて物支ふつけて
見ぞ吉慶と推称ことぞゐり古書ふハ愛の字をめでうと訓りとと
の本語ハかゝとのいて惶の字をかゝことと訓りかゝこの本語をかく
ことのふかきこゝけこの通音ふ拠るゐりそ旦を又りとト書ハらゝく
の筆勢のむまさるゐりゐ女の文のさふもうぎそ公卿ゐとの古文書中
そえゝれバ男の文通ふもうきさう支めて恐惶謹言と書ふゐうゞめでさう
もとも古言ゐれバ源氏物語ハりとさう古き物語どもふハあまたある詞
ゐり女のさふふりとトかくふ東山殿ト
の事ゆそ三四百年来のうらうもゐりかくふ証拠ふハ引ゞ古書ふ
まさまれどゐらせりそもく此外ざりを春の夜とこのふふちるさて
めでさうとの訣を娘御さちくはきさうもやト上ゐめでさうとし

嘉永三庚戌孟春

八十翁 京山

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726
ガラス使用

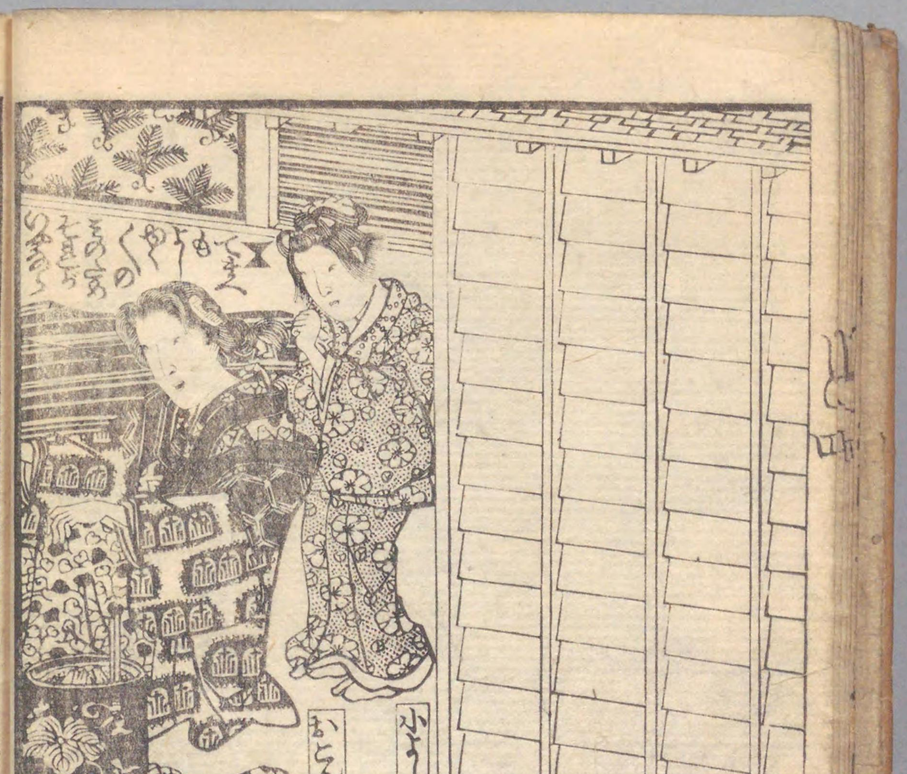
国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

▼おいとこんで
ござりまする
●おはまへ、おうとこぜんでござりまする
ござりまする
●おはまへ、おうとこぜんでござりまする
ござりまする
●おはまへ、おうとこぜんでござりまする

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用



国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

さて小ようがてうやのうへにきたハ大こうの
さうぶえもんとて小ようがのまをろうろうもとう
ようハ六十やまのへびそうるをちこの人
るるゆゑ人つくゆもてもやのうへにきたと
きうねんそどうるおんてのうへにきたるれざる
のぞの三吉もうもおれさんくしと
小ようがロおりの男ろうりのうふ
小ようがをきうのきとそうやう
つけてまりさうるりのうまで
ちくぎるハうびんとものおうまとの
のべきゆうう矢さうさる
とまをよそ目わこまふハ
さうりとハきこえねこてまふ
おりのべけれどぜんもわくも
ときのうぎれバゆうまも
うめぬこともうもおうり
たくさきてもちの
くさ木のなそうきそ
のうをやけをいのうて
ぐんをうけるハロが
わがひごとのさま
まうのうれどとさ
のぐうさわれバわがひこと
うるうをこまわどの
うりけり

うぐひぐうぐそさくくめ
うるうぎうハちくとも
きのまうのうもろ
りうとまうべし
さて小ようが
そのおうひをのぐのこが
ぶくまうちうハまがくの
どてまうさこのわんうわんまうあり
さのわんもうのぐが
うるまこうくをこそもの平く
ありけり

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

東都錦繪所
江戸ゟ町おやぢ橋角
山本平吉梓

榮久堂刊行藏板略目録

永花百人一首文字物 首書繪抄
源氏文字帖 梅彩色小錦絵
御誂染逢山鹿子 六編揃
教訓寶揃 初編近刻

八十翁山作

豊國画

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

ときわ四季んの下

七段 さるぢ ちうん

三吉小うた をつまでうのごのそを
ゆげいそいそものけ
ごうりさてあらそのの
ごまちらうくおきて
のうくのまちてのき
りをうするあけあ
やこ吉ことおもち
ご目わうらはもくの
ごきふいりかご考
ゆうゆてまうのさ
ゆをまてやさてもん
ごをひる三吉わ
ごのるのこり
ロてうもいなまやれこの
もまてまをうちうくまて
ものをうけ人いれこれわれごまる
ごあやうんのやうこのものあとら
ようつまごもものこうあやとら
どこの人ぐ。三吉ゆうてまのあご
ちげうまとをもる
人ぐ(一)

あけぼのや

(二)あんどのあもまんくんぐうへ

京山作
栄国画

口人留吾画

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

千段ほりひさうふ福井ぶろの湯べやにて
福ぢよとてそのみよう八十七ばん
つはいおさとてとよ十ゆうろくのめうさう
わこのかみさまをはじめとしてのめうとうさんの
いのぐんじやうひのぐんじやうさのことく
くるのうりひのぐんじやうのれいばあわくとも
つまおきよのそびてくるまおいのの
ひとまさるうちおとそのひいてを
ろくとのうのてんとうりぬこまわらせる
ろうをそれうごとうれおきよ
ろうをそれうごとうれおきよ
ろうをそれうごとうれおきよ

十一段

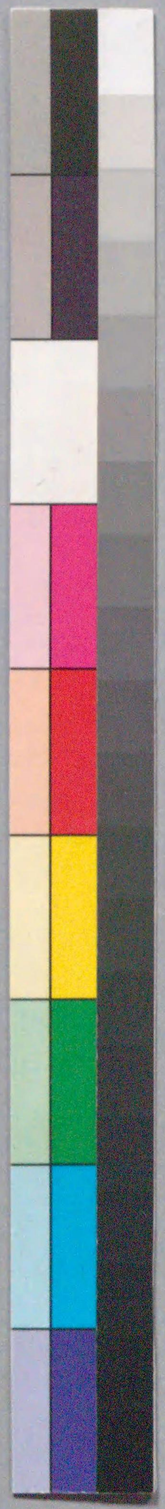
国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

十二段

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用



国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

十四段

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

宮本武蔵源春當門人

献

六三郎

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

邯鄲諸國物語

十編 柳亭種彦作
十一編 一陽齋豐國画

菊壽童霞の盃 山東庵京山作 十編 大尾 一陽齋豐國画

臘月猫のさうし 山東庵京山作 七編 大尾 一勇齋國芳画

春の文かしくの艸紙 山東庵京山作 三編 四 一陽齋豐國画

仙女香七變化粧 十返舍後一九作 二編 一陽齋豐國画

狙公真實錄 笠亭仙果作 初編 一勇齋國芳画

隅田川月姿見 式亭小三馬作 三編 一陽齋豐國画

榮久堂 江戸芳町親仁橋角 山本平吉版

洗ふがごとき美艶仙女香 一包四十八銭 東都日本橋通三丁目 三ノ町二十四番地 坂本氏製造 黒油美玄香

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

山東菴の翁の仕絆をのがれて京橋の市隠あり雲軒よ藻土の史籍をひもとき堂上の図に我國の文巻を照しそ学乃かみといみづき翁あり けさまざまに筆々著し狩史の聞を挙る力よ羽毛坂撮るが如くされど自謂る史光樹の柿乃いと浩きたまび人の口あるとく恥ぢぬまと兄弟京と歸二代の作家稗史の抄そ誰乃其右ふ出んやそもまさしの草ふに五篇の巻ふ成るそ春れ文よ串柿の甘味と校へつゝ州ざしよむ雅重乃栗玉あるべし

嘉永四年辛亥阪月　兎角亭亀毛識

春の文かしくの草紙

五編上巻

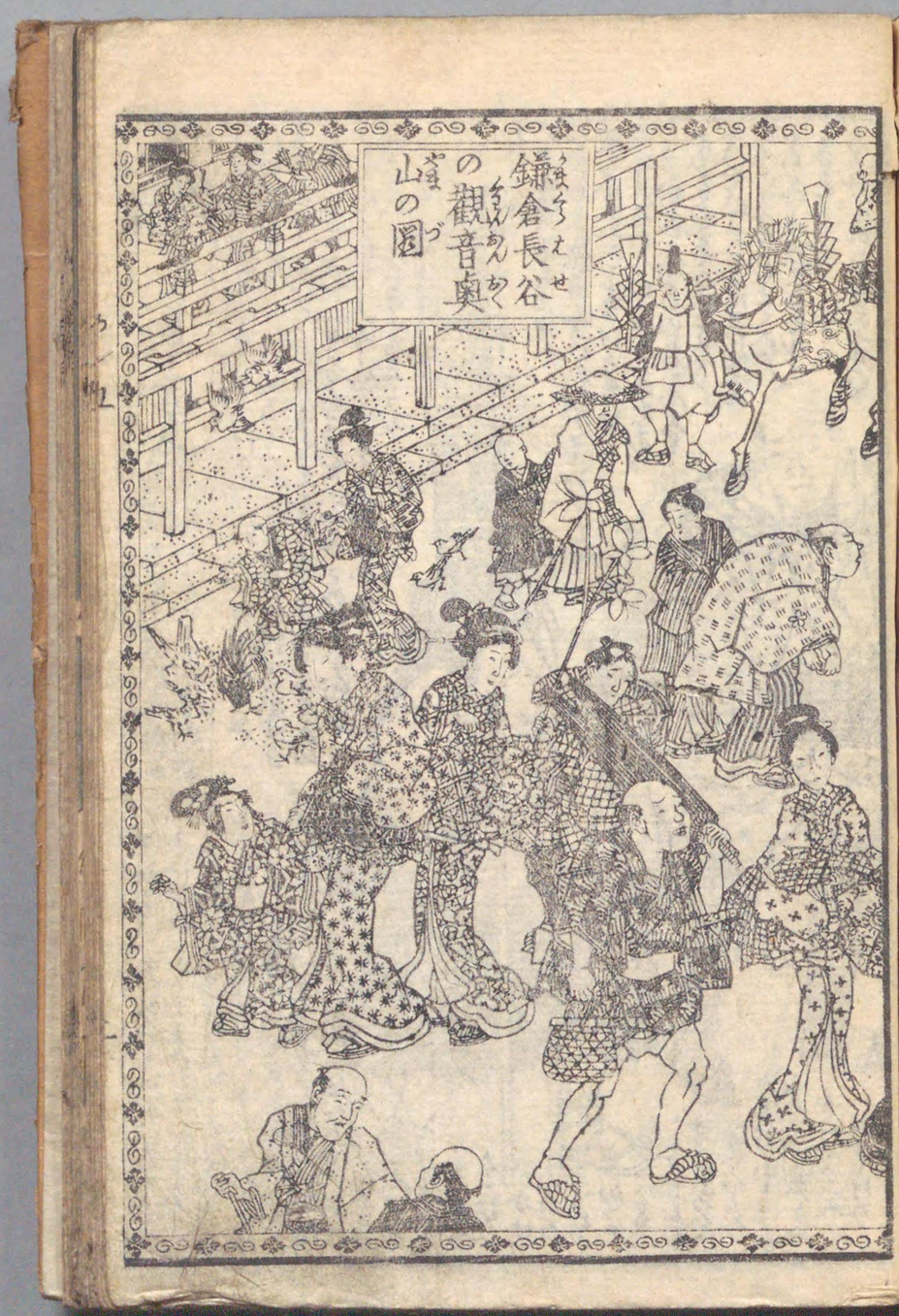
山東庵京山作
一陽齋豊國画

嘉永四年辛亥春新版

蔡文堂壽梓

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用



国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

春文しの草子五編　嘉永三年庚戌春稿本
同冬上梓支初春新発

初段

地蔵堂建立

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

五匹

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

東都錦繪所
江戸ヶ町おやぢ橋角
山本平吉梓

榮久堂刊行藏板略目

永花盲人一首之評 首書繪抄
太平記出世雙六 一鵬齋芳藤画
御誂染逢山鹿子 六編揃
源氏五十四帖 極彩色小錦絵

京山作
豊國画

その二 しとやかに くちあきさう
ふらさんさんざう
おさえこもろくトルな
ふれ六ちもも
目のこそあめさ
そのうまごぞれおとま
かくくさおくの
おやあるものみやもの
こちのくぬれ
かるうまくの
おれなるふらふりやや
としへひさこのまうこと
こでえもって
そのなぐらのるぐらひとくりさのて
ぐさんせー母が
ようとさわんがかる多母ハ
たのふぐさろされるのて
めとろくとかけれハ六ニまや
こ者ハ母のかれへんく

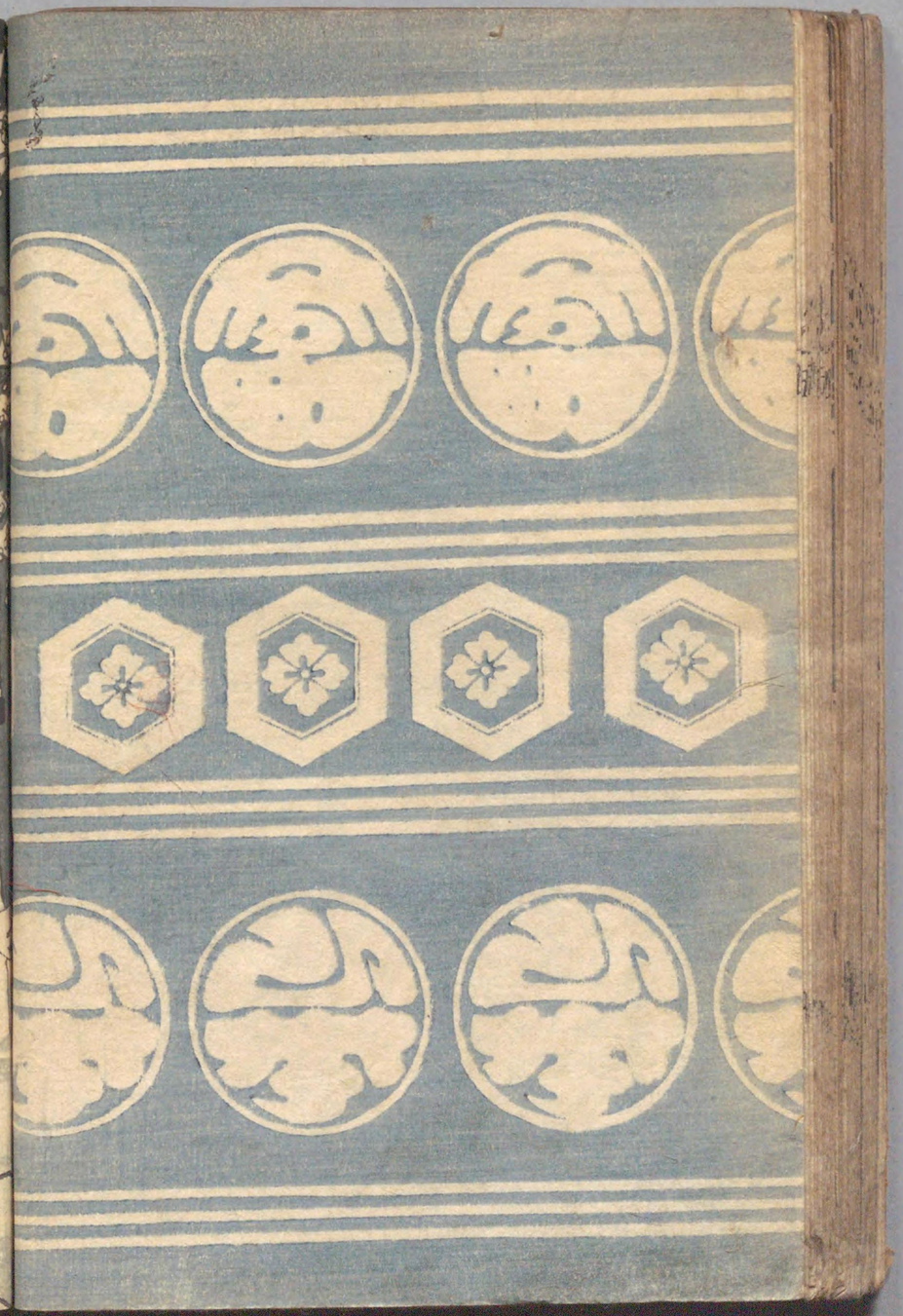
しし五編
上冊をそり

六ニ弟

しし

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用



国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

国立国会図書館　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用

208
ノ
726

京山作
豊國画

薄紫宇治曙　柳下亭種員作　三篇　四篇　五篇　一陽齋豊國画

邯鄲諸國物語　柳亭先生舊案　仙果作　十二篇　十三篇　一陽齋豊國画

堀川唄真實錄　笠亭仙果作　二篇　三篇　一勇齋國芳画

春のみゝかし　山東庵京山作　五篇　六篇　一陽齋豊國画

繪本頼朝一代記　玉蘭齋貞秀画　二篇　三篇　哥川貞秀画

美艶仙女香　一包四十八錢　東都　京橋南傳馬町三丁目　坂本氏製

黒油美玉香

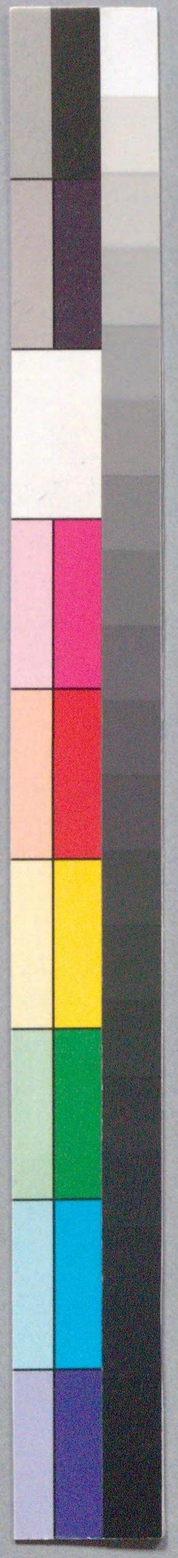
榮久堂　江戸芳町親仁橋角　山本平吉版

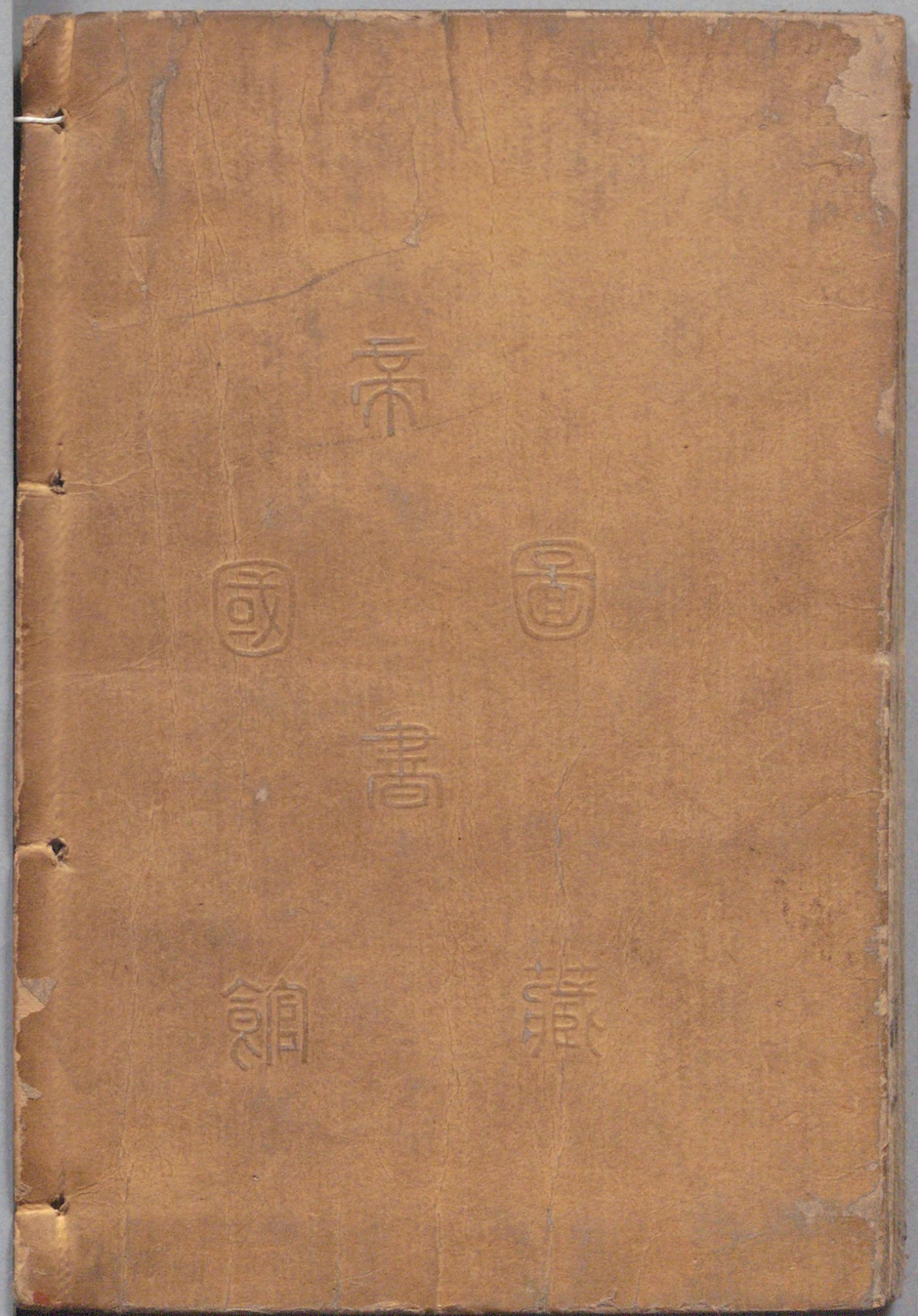
ガラス使用

208
3
726

国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用





国立国会図書館　　春の文かしくの草紙 208-726

ガラス使用